

トピックス1

素材生産事業

—長棟国有林—

92年生のスギ人工林を中心に

- ・ 間伐により2,300m³の素材を生産
- ・ 伐採・搬出及び検知は請負
- ・ 素材の販売方法はシステム販売(※)

予定

面積・伐採率

- ・ 92年生のスギ人工林(1伐区): 8.96ha
- ・ 50~54年生のスギ人工林(2伐区): 25.31ha
- ・ 間伐率は材積率で30%

伐採・搬出方法等

- ・ 伐採と山元土場までの搬出は、高性能林業機械等を使用。
- ・ 素材の内、一般材はシステム販売先が指定する富山県内の土場までトラックにより搬送。

なお、小径木・特木・パルプ等は山元土場でシステム販売。

スケジュール等

- ・ システム販売先は、4月に決定。
- ・ 伐採・搬出及び検知の請負業者は、一般競争入札により6月上旬頃に決定。
- ・ 素材の生産は8月~10月が最盛期で11月中旬に完了。

予定



92年生のスギ人工林



長棟国有林の素材生産箇所へは、当署から国道41線及び県道187号を經由して長棟林道の桧峠越えで約44km、1時間40分。

平成23年度の実施状況



伐倒



積込



山元土場への搬出



山元土場



最終土場

※(参考)

システム販売とは

「国有林材の安定供給システム販売」(以下「システム販売」)とは、需要開発が必要な間伐材等の低質材について、国が製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林の木材を安定的・計画的に供給する販売方法。中部森林管理局では、このシステム販売に平成18年度から取り組み、逐次拡大してきたところ。協定の相手方の選定は、希望する需要先から企画提案を募り、その内容を審査して決定する企画競争方式により実施。

トピックス2 雲ノ平植生復元事業

◆ 東京農業大学研究室、雲ノ平山荘と協働で、雲ノ平(日本庭園、雷岩、奥日本庭園)の植生復元作業を平成20年度から3カ年で行いました。平成23年度は次期復元計画の現地調査及びモニタリング調査を実施し、今年度から更に3カ年行うこととしています。

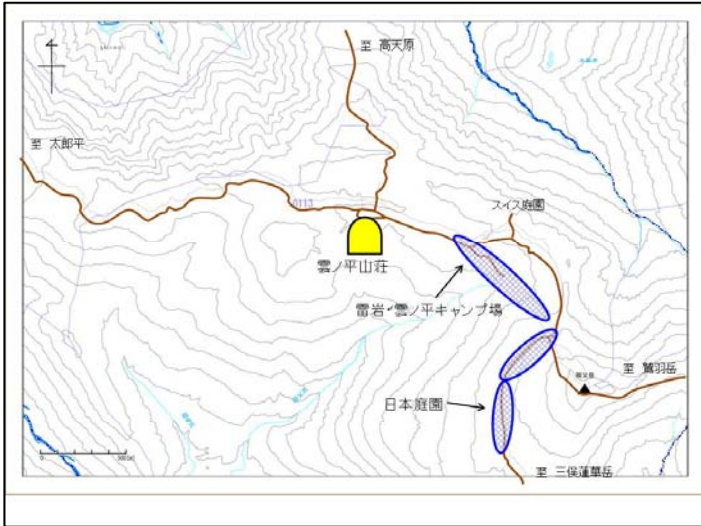
植生復元前の様子



復元作業の様子



植生復元予定箇所位置図(H24~H26)



トピックス3 美女平再整備事業

- ◆ 立山地区国有林野保護管理協議会、ボランティア(フォレストサポーターズ等)と協働で美女平の探勝歩道に地元産のスギチップを敷設することにより、表流水等で根が洗掘されているタテヤマスギの保護に努めています。



スギチップの製作(官行造林地)

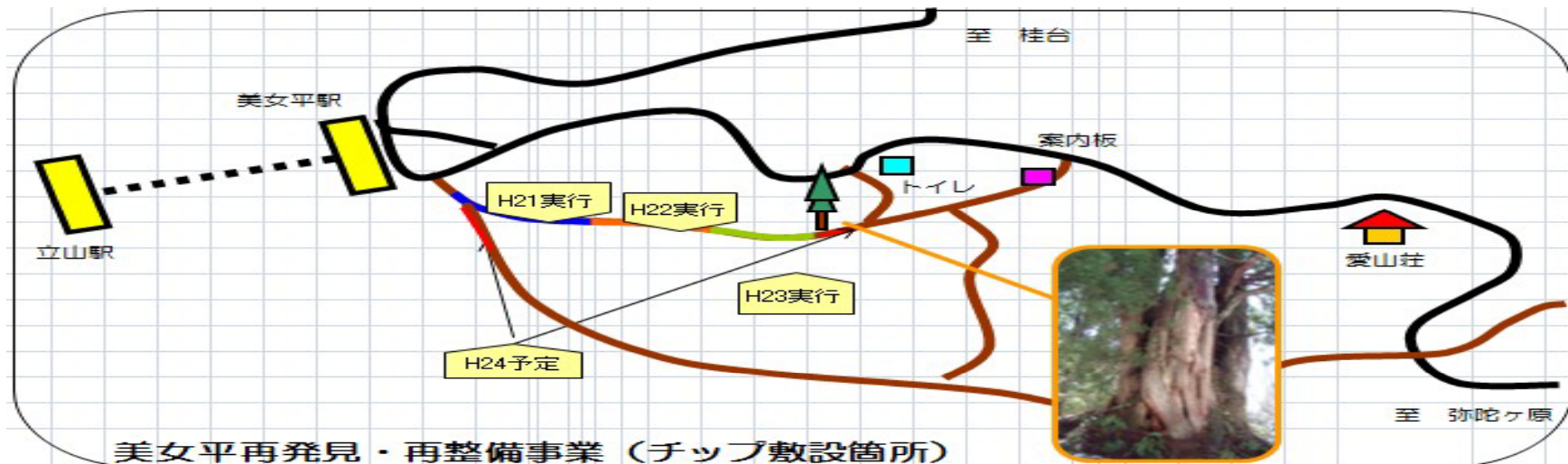


スギチップの運搬(美女平)



スギチップ敷設作業(美女平)

平成23年度は、10月4日:スギチップ製作、10月5日:スギチップを美女平へ運搬、10月12日:スギチップ敷設を行いました。(延べ100名で実施)



トピックス4 ボランティア団体による森林整備

- ◆ 里山再生などに取り組んでいる「NPO法人きんたろう倶楽部」は、平成19年から大沢野国有林で竹の除去を行ってきました。富山森林管理署ときんたろう倶楽部は、平成22年8月に当森林の整備協定を結び、名称を「風とせせらぎの森林」として活動しています。



- ◆ 水無国有林内にある水無湿原は、白木・水無県立自然公園に指定され、県内でも代表的な湿原となっています。近年、水道の変化や土砂の堆積による乾燥化などにより生育環境が悪化し湿性植物が衰退している。

このため、地域住民等の湿原の保全・保護に対する関心が高く、「NPO法人利賀飛翔の会」等による湿原の保全整備等が行われている。



湿原整備



観察会

